

岐阜大学の経営改革

～強靱なガバナンスと安定した財源確保～

- 戦略的・機動的に執行するガバナンス体制の整備
- 外部資金等の獲得による財源の多様化を踏まえたトータルバジェットによる資源配分
- 「地域の中核大学の産学融合拠点の整備」事業を推進
- 地域ステークホルダーとの対話
- 地域企業との共同実験施設・スタートアップの活動拠点・新たなオープンイノベーションを創出する産学共創拠点化の推進

本事業によりもたらされる成果

【構造面】

- ✓ 大学・産業界・地域発展の好循環モデル（TOKAI-PRACTISS）の加速
- ✓ 世界を担う若手研究者の集積

【財政面】

- ✓ 財政基盤の強化
- ✓ 外部資金収入割合の引き上げ（令和13年度 目標値：29.6%）

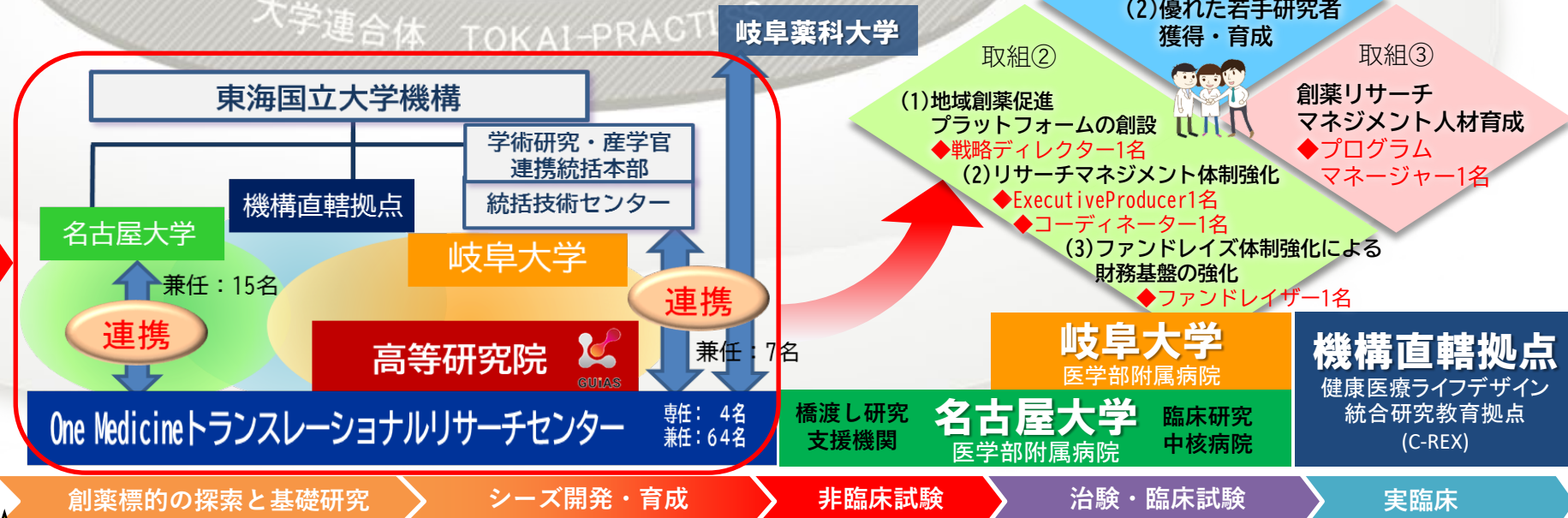
【研究面】

- ✓ 東海国立大学が有する知見を集約し、創薬・医療機器開発を一気通貫で強力に推進
- ✓ わが国の創薬・先端医療研究の先導

岐阜大学研究基本戦略（抜粋）

- ◆ 強み・特色ある研究ならびに将来性のある研究を戦略的に発展させる。
- ⇒ 生命科学分野では糖鎖科学・医獣薬連携による次世代生命科学を推進する。

名古屋大学との連携





標的タンパク質構造解析
バイオイメーjingを可能にする様々なプロトコル開発

神経疾患、腫瘍の研究

東海国立大学機構 **設立** 2020年

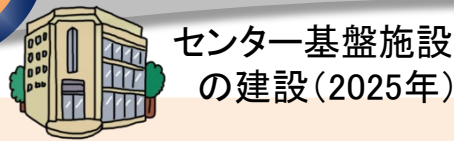
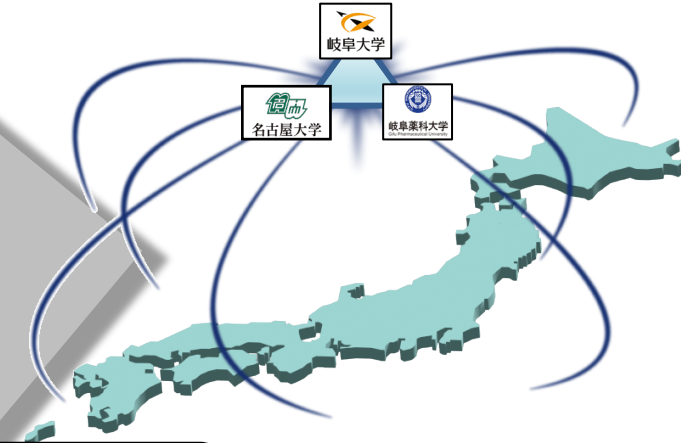
運営支援組織
 学術研究・産学官連携統括本部
 ⇨ 研究力強化
 統括技術センター
 ⇨ 機構内の機器共用化の促進

直轄拠点
 糖鎖生命コア研究拠点 (iGCORE)
 健康医療ライフデザイン統合研究拠点 (C-REX)

東海地域発の創薬を実現

- ◆ 岐阜IC 開通(2024年)による産学連携の活性化
- ◆ 岐阜薬科大学完全移転(2028年)による連携加速
- ◆ 岐阜市ライフサイエンス拠点構想による地域活性化
- ◆ スタートアップ企業等の集積による東海地域の発展

わが国の創薬・先端医療研究に貢献



東海国立大学機構への裨益

岐阜大学 高等研究院
<https://guias.gifu-u.ac.jp/>

名古屋大学
 トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM) 発足 2013年

創薬科学研究科設置 2012年

岐阜薬科大学の移転



ミニブタを用いた研究 2010年～

環境医学研究所 1946年

岐阜大学 連合大学院の形成 連合創薬医療情報研究科 2007年

医学部・附属病院の現キャンパスへの移転 2004年

応用生物科学部附属動物病院の増築・機能強化 2004年

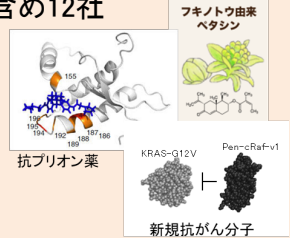
量子MRIなどの先端医療機器 2016年～

One Medicine トラंसレーショナルリサーチセンター設置 (2023. 1)

◆ センター設置による効果

- 東海機構や岐阜薬科大学等の有する創薬シーズを集約
- 非臨床POC取得 ≥ 50%、臨床POC取得の期待できる創薬シーズを発掘・育成
- 名古屋大学の橋渡し研究支援機関、臨床研究中核病院機能に創薬シーズを投入、東海機構から創薬研究の更なる加速
- 競争的資金、産学連携経費(共同研究・受託研究)、知財収入(含シーズ導出)、大学発ベンチャー創出等による外部資金増収
- 創薬・先端医療分野の研究力向上

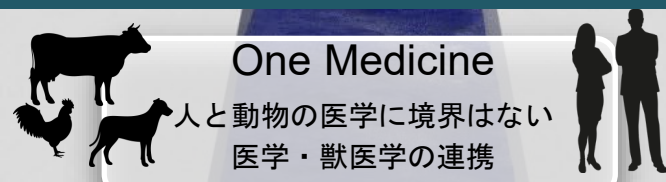
共同研究・連携実績
 共立製薬、アステラス製薬 含め12社



有力創薬シーズ

動物医科学研究開発部門

- ・ヒトと動物の疾病・病原体の比較研究の推進
- ・ゲノム編集技術等による中小動物疾患モデル開発
- ・中小動物疾患モデルのライブラリ構築・共同利用促進
- ・SPF環境の繁殖・飼育
- ・感染実験・行動実験等にも幅広く対応
- ・自然発症動物を用いた臨床研究



先端医療機器開発部門

- ・量子MRIをはじめとする新規医療機器の開発
- ・多様なプローブを用いたバイオイメージング技術の提供
- ・AIによる新規診断技術の開発

革新的モダリティ創出部門

- ・核酸や抗体、細胞等、多様なモダリティのシーズ開発
- ・卓越した合成化学によるシーズ開発・展開
- ・構造生物学やインフォマティクス等によるシーズ開発

リサーチマネジメント部門

- ・創薬シーズの発掘、フレックスシーズの選定評価
- ・部門間の連携推進、シーズ開発・育成に伴走
- ・企業導出、大学発ベンチャー創設、知財・大型予算の獲得支援
- ・東海機構の学術研究・産学官連携統括本部と連携



東海国立・糖鎖生命コア研究拠点 (iGCORE) 大学機構

- 岐阜大学
 - ・医学系研究科
 - ・応用生物科学部共同獣医学科
 - ・連合創薬医療情報研究科 (岐阜薬科大学との連携)

東海国立・健康医療ライフデザイン統合研究拠点 (C-REX) 大学機構

- 岐阜大学
 - ・医学部附属病院
 - ・附属動物病院

獣医、量子イメージングの強み

- 名古屋大学
 - ・医学系研究科
 - ・環境医学研究所
 - ・創薬科学研究科
 - ・トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM)

中・大動物実験、動物医療への実装に強み

- ・橋渡し研究支援機関
- ・名古屋大学病院 (臨床研究中核病院)

基礎科学の強み(化学、構造生物学、先端計測、バイオインフォマティクス、分子生物学など)

非臨床試験、治験・臨床研究の拠点機関としての強み

One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター
創薬研究における“魔の川”
(研究から開発への障壁)

創薬標的の探索と基礎研究

- ・疾患関連シグナル経路解析
- ・創薬標的構造解析
- ・疾病感受性遺伝子解析
- ・疾患関連グライコミクス研究など

シーズ開発・育成

- スクリーニング
- 核酸医薬開発
- 抗体・免疫療法開発
- 人工バイオマテリアル開発
- 再生・細胞治療開発
- 疾患モデルを用いた有効性・安全性評価
- TPP (Target Product Profile)

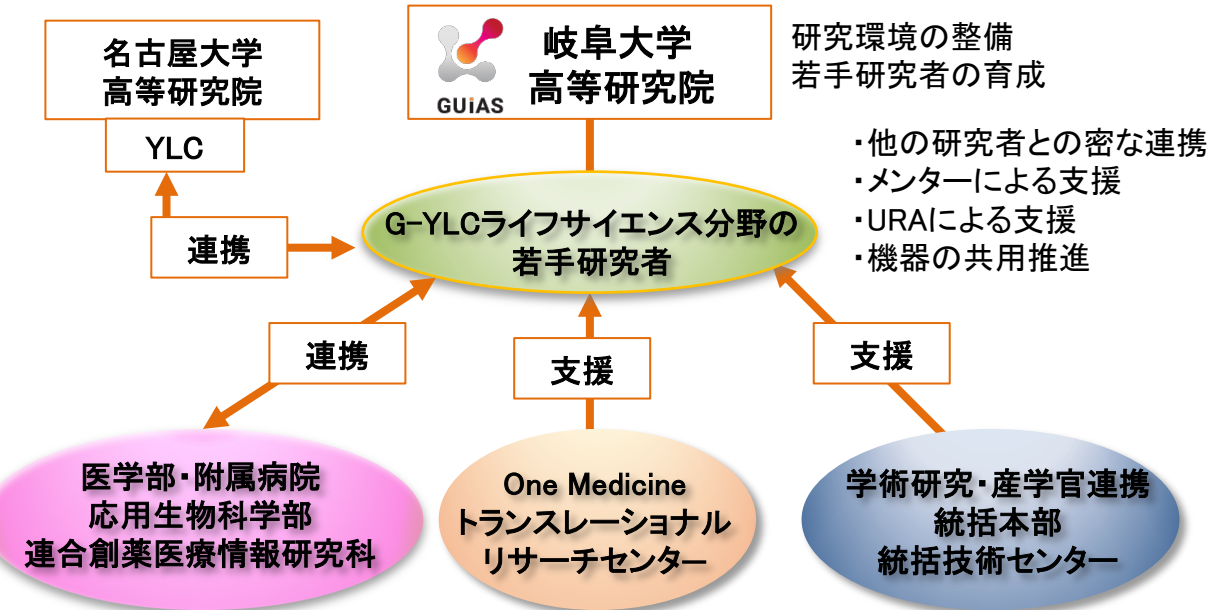
非臨床試験

- ・GLP準拠安全性試験
- ・GMP準拠医薬品製造
- ・PMDA相談

治験・臨床研究

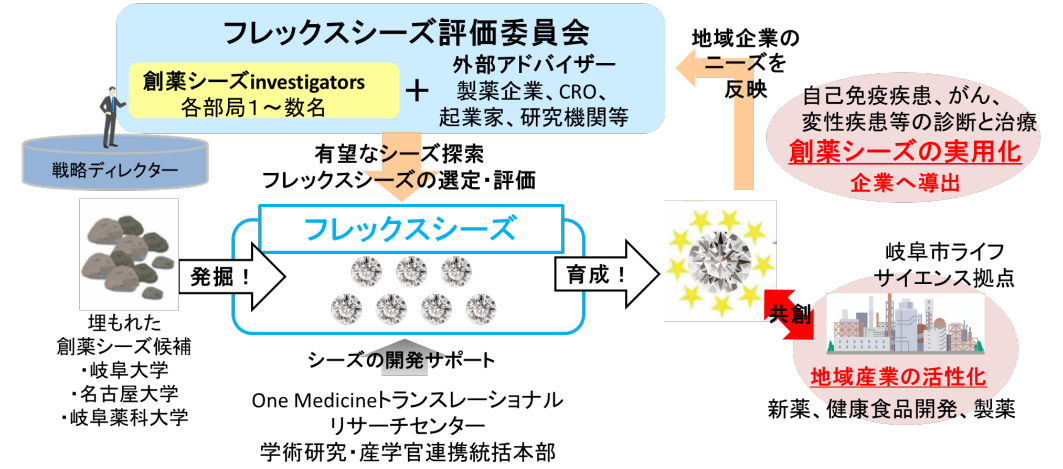
- ・臨床薬理試験(Phase I)
- ・探索的試験(Phase II)
- ・検証的試験(Phase III)
- ・動物臨床試験

取組①-② 若手研究者の獲得・育成



取組② 創薬シーズ育成を加速させるリサーチマネジメント体制の構築

②-① 「地域創薬促進プラットフォームの創設」



②-② 「リサーチマネジメント体制の強化」

②-③ 「One Medicineファンドレイズ体制強化による財務基盤の強化」

取組③ 創薬リサーチマネジメント人材の育成



- ・自然科学技術研究科(修士課程)に設置、ただし学内外の博士課程の学生も対象とする。リカレント教育としても提供予定
- ・名古屋大学が提供している研究者育成プログラム、開発者育成プログラム、産学連携推進人材育成プログラムなどの医学系研究科・附属病院の連携・伴走支援プログラムと連携して、本プログラムを実行する。

創薬リサーチマネジメント人材実践的育成プログラム

【プログラム科目】

① 創薬基礎研究実践学	② リサーチマネジメント実践学
③ 創薬知的財産管理実践学	④ 創薬シーズ育成研究実践学
⑤ 臨床研究実践学	

本プログラムにより育成する人材像

製薬企業等のリサーチマネジメント担当者、大学のURA、厚労省・農水省の薬事承認担当者、企業・大学・研究所の創薬研究者など

年次計画・補助事業期間終了後の継続拡充

